



# 「日本遺産」認定のまち 忍びの里伊賀・甲賀

【問い合わせ】  
忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事務局  
伊賀市観光戦略課 ☎0595-22-9670  
甲賀市観光企画推進課 ☎0748-69-2190



## ◆ 忍者の修練

忍者がさまざまな任務をこなすためには、強い身体と精神が必要でした。そのために、常日頃から厳しい修行を行っていましたが、そのような厳しい修練を忍者はどこで行っていたのでしょうか。伊賀や甲賀の山々には、忍者たちのルーツの一つといわれる山伏の行場があります。山伏とは険しい山での修業によって、特殊な技能と呪術を身に付けた修験道の修行者のことをいいます。修行

者は修行の上で「九字護身法」を用いており、これは忍者が忍術を使っていた際によく見られます。山伏の行場とされる山には大規模な山岳寺院跡が残っており、20カ所以上の宿坊が建ち並んでいたことが絵図に描かれたり、郭群が実際に残っていたりします。山岳寺院跡からは忍者のルーツとされる修験道の痕跡を感じることができます。



◀ 霊山山頂遺跡(伊賀市下柘植)  
斜面地に郭群が連なる寺院跡。多くの人がここで修行していた。



▶ 飯道山(甲賀市信楽町・水口町)  
近江屈指の修験霊場。今も石垣で囲まれた寺院跡が残る。



文化庁日本遺産ポータルサイト

## 情報交流ひろば

# となりまち いが・こうか・かめやま

伊賀市・滋賀県甲賀市・亀山市 3市連携イベント開催

## いこかを鉄道で巡る「徳川家康ゆかりの地ウォーキング」

伊賀市、甲賀市、亀山市の3市連携イベント「徳川家康ゆかりの地ウォーキング」を10月28日(日)に開催しました。

このイベントでは、伊賀市と甲賀市に特に関係の深い「神君伊賀越え」にゆかりのある、徳永寺(伊賀市)、和田城館群(甲賀市)、大徳寺(甲賀市)を参加者40人が鉄道でめぐりました。

参加者には特典として、3市の地元食材などを使った「いこか弁当」や銘菓、やまなみ工房のアーティストがデザインしたオリジナルバックをプレゼントしました。

参加者からは、「普段鉄道に乗らないので、近場を知ることができてよかった」と好評でした。

これからもいこか3市連携イベントを通して、公共交通の利用促進を図っていきます。

※「いこかトレイルイベント」は、天候不順により中止しました。



徳永寺



和田城館群



大徳寺



配布されたオリジナルバック



3市の地元食材を使った「いこか弁当」

## 【いこか】の問い合わせ

○秘書広報課 ☎22-9636 ○甲賀市秘書広報課 ☎0748-69-2101  
○亀山市広報秘書課 ☎0595-84-5021



# 伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



伊賀城和

伊賀市 笠置町 南山城村 山添村

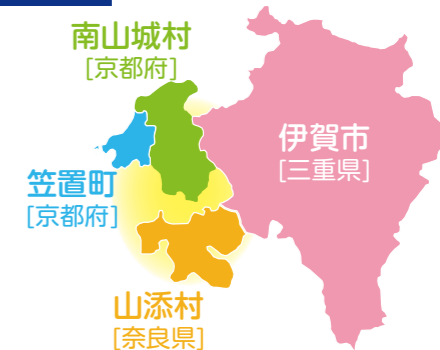
【問い合わせ】 総合政策課  
☎22-9620 FAX 22-9672  
✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



伊賀市は、京都府笠置町・南山城村・奈良県山添村と定住自立圏形成協定を締結し、医療や防災、観光などの事業に連携して取り組んでいます。

この圏域は、府県境にありながら、従来から買い物、医療、仕事、文化、スポーツなど、生活において繋がりがあり、圏域外に誇れる結びつきの強い地域となっています。

## 定住自立圏域



## ◆ 定住自立圏連携事業「講演会」

11月23日(木)、「石仏・石塔の考古学～伊賀・笠置・南山城・山添を中心に～」と題して講演会を行いました。定住自立圏連携事業として、この日はハイトピア伊賀をメイン会場、南山城村のやまなみホールをサブ会場として開催しました。

三重・奈良・京都の府県境は都にもほど近く、木津川の上流域でもあり、早くから仏教文化が定着した地域です。

講座では、この地域に花開いた仏教的な石造文化について石仏と石塔を中心に学び、貴重な資料の解説などを通して地域の歴史像に迫りました。



メイン会場のハイトピア伊賀



講師の滋賀県立大学  
佐藤 亜聖教授



サブ会場のやまなみホール

## 救急・健康相談ダイヤル24 ☎0120-4199-22

医師・看護師などが24時間体制で、病気やけがなどで救急車を呼ぶかどうか迷っているときの相談をはじめ、心と体のさまざまな相談、救急医療体制や応急措置などに関する相談に応じます。

- 伊賀市・笠置町・南山城村・山添村にお住まいの皆さんが無料で相談できます。
- プライバシーは厳守されますので安心してご相談ください。

